

令和3年3月定例会 陳情

令和3年陳情第1号

国立病院の機能強化を求める陳情書

・受理年月日

令和3年2月24日

・陳情の要旨

1 陳情の理由

新型コロナ感染拡大によって日本の感染症対策、医療体制のぜい弱さが浮き彫りとなった。

また、新型コロナ患者の受入れは病院経営を圧迫することから民間医療機関では慎重にならざるを得ず、経営問題を考えれば新興感染症の患者受け入れは公的医療機関が中心に行わざるを得ないのが現状である。

国民のいのちと健康を守るのは国の責務であり、全都道府県にネットワークを持つ、国立高度専門医療研究センター及び国立病院機構病院の診療・研究に関わる必要な経費に国費を投入し、新興感染症対策など採算の取れないセーフティネット系医療において中心的役割を果たすよう機能強化することが、地域医療を守り、充実させるためにも大変重要と考える。

新型コロナ蔓延時には、人工呼吸器やECMO（人工心肺装置）等医療機器や取り扱うスタッフが不足し、重症患者への対応が十分にできず、さらに現場では、マスクや個人防護服などの必要物品が欠乏し、大幅な人員不足なうえに、十分な感染対策も出来ないまま患者対応をせざるを得ない状況にも陥った。このように必要な人員、医療機器、物品が欠乏し、国民のいのちが救えないなどという状況になることがないように、国が責任をもって対策に取り組むことが必要である。

2 陳情項目

国立病院の機能強化を図り、国が憲法25条に保障された国民の生存権を保障するとともに国の社会的使命を果たすよう、別紙意見書を決議いただき、関係機関に提出いただけるよう要望する。

・陳情者

〒026-0053釜石市定内町4-7-1国立病院機構釜石病院気付

全日本国立医療労働組合釜石支部

支部長 西村 美香子

・処理結果

本会議において報告しました。

上記項目を記載した陳情文書表を、全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。